

金沢大学 共同研究講座・ 共同研究部門の ご案内

独創的な発想と
共同研究開発による
イノベーションの創出へ

Tel 076-264-5298 Fax 076-234-4012

金沢大学 社会共創推進部産学連携支援課
〒920-1192 金沢市角間町

URL <https://research-promotion.adm.kanazawa-u.ac.jp/>
EMAIL sangaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

趣旨

共通の課題について本学と共同して研究を実施しようとする外部の機関・企業等から受け入れる経費等によって研究組織を設置・運用し、優れた研究成果を創出する制度です。

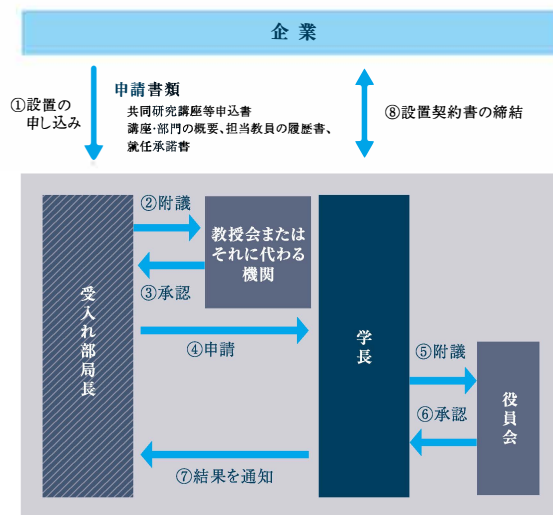
特徴

- これまでの共同研究と違い、企業の研究者を共同研究講座・部門の特任教員に受け入れることができます。また、在籍出向も可能です。
- 共同研究講座・部門の運営は、企業と大学とが協議して行います。
- 企業からの特任教員が単独で創出した知的財産は、あらかじめ設置契約により企業に帰属させることができます。
- 部局での責任教員の配置、専用の研究場所の確保、設備・計測装置の活用により、効率的で着実な共同研究が実施できます。

共同研究講座・部門の設置手続き

関心をお持ちの研究分野の研究を行っている金沢大学の教員との間で、共同研究講座・共同研究部門についてご相談ください。概要がまとまった段階で、設置の申し込みをいただきます。

詳しくは、研究・社会共創推進部産学連携推進課までお問い合わせください。なお、従来の共同研究、寄附講座・寄附研究部門の相談も受け付けております。



概要

研究分野	人文・社会・自然科学のいずれの分野でも、又はこれらを横断する学際的領域でも研究対象にすることができます。
名称	共同研究の内容に相応しい適切な名称とします。大学院に設置する場合は「共同研究講座」とし、研究所等に設置する場合は「共同研究部門」とします。企業が希望する場合は、企業名が明らかとなる名称を付けることができます。
構成	①教授又は准教授相当及び②准教授又は助教相当を含む2名以上の教職員から構成されます。その他、必要により協力教員を置くことができます。 研究者として、ポスドク、大学院生を参加させることにより、研究の推進と同時に、若手研究者の育成、活躍の場とすることができます。 共同研究講座・部門を置く部局に責任教員を置き、教育研究及び連絡調整を担当します。
設置場所	金沢大学構内
設置期間	2年から5年とします。更新することができます。
経費	研究に必要な費用の他に、講座の運営のために必要な環境整備費、教職員人件費、研究費を企業が負担することにより、研究場所と教職員の確保を図ります。

